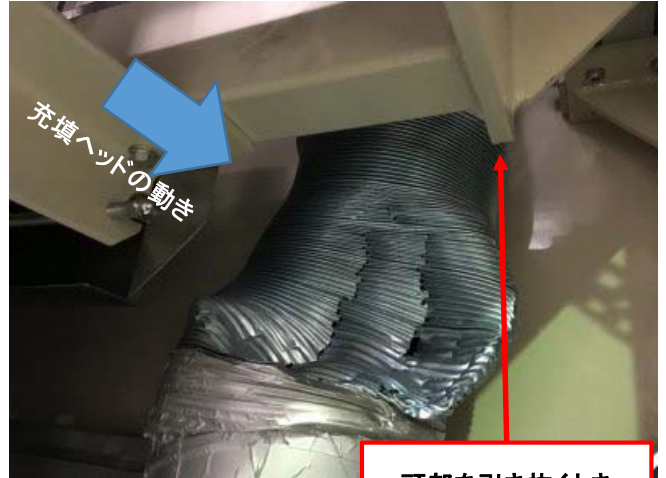


日塗工 整理No.		2017- 34	労働災害状況調査表			
発生会社 事業所						
災害発生場所						
災害発生日時		2017年 8月18日(金) 11時10分 天候(曇) 温度(28℃) 湿度(%)				
災害区分		不休災害(全治 8日間)		休業災害(休業: 日)		
被 災 者	部門	製造課		雇用形態 (正社員)、派遣、契約、その他()		
	年齢	45歳	性別:(男) 女	勤続年数 27年	経験年数 4年	
	傷病名	傷病名: 頭部打撲、挫傷(左側顔面から頭部にかけて10針)				
	傷病部位					
災 害 発 生 状 況	石油缶自動充填設備において、充填時に石油缶から溶剤が溢れるかどうか、ブース内上部から頭部を入れて覗き込むように充填状況を確認していた。		状況概略(写真orイラスト) 			
	その際、次の溶剤を充填するため、可動式充填ヘッドが手前に、続いて右に移動したので、充填ヘッドと右壁側にある排気ダクト(フレキシブルタイプ)の間に頭部が挟まれたので、体を引いた際に顔面から頭部にかけての両側で裂傷した。					
	被災者はヘルメットを着用していた。					
災害の型 ^{※1)} 5(はさまれ、巻き込まれ)		作業の形態: 定常、非定常、(その他) 動作確認)				
起因物: 設備		特記事項				
原 因 分 類	1. 人的要因(man): 充填ヘッドの動きを把握せず、設備を覗き込んだ不安全行動。					
	2. 物に関する要因(machine): 人が入ることを想定していない設備。					
	3. 環境要因(media):					
	4. 管理的要因(management): 自動充填設備なので、動作確認の手順書なし。					
対 策	1. 充填ヘッドに左右の動きを表示した。					
	2. アクリル板のカバーを設置し、可動部に入れないようにした。					
備 考	3. 動作確認を行う時は一人では行わず、二人以上で確認するよう手順を改める。					
	4. 作業手順にない行動をするときは、動作の確認、作業内容を把握してから行うよう努める。					
対策分類 ^{※2)} : 1-2、1-4、1-6、2-4						
類似箇所の摘出: なし。						

労働災害状況調査表(追加資料)

1. 事故状況の追加資料



充填ヘッドの動き

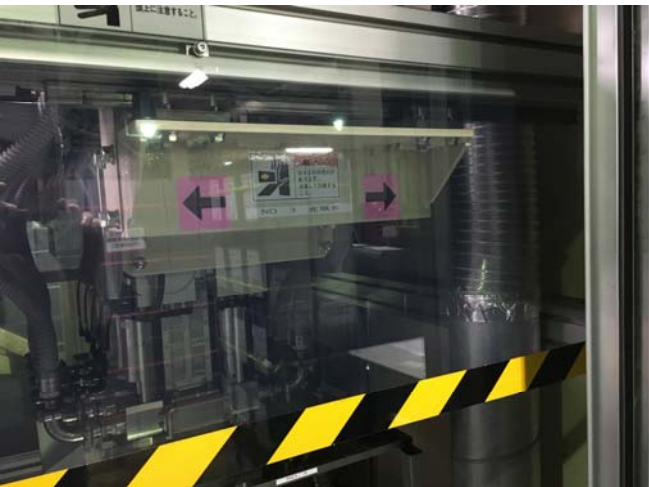
頭部を引き抜くとき
この部分で裂傷した

ヘルメットの潰れ方を再現したもの

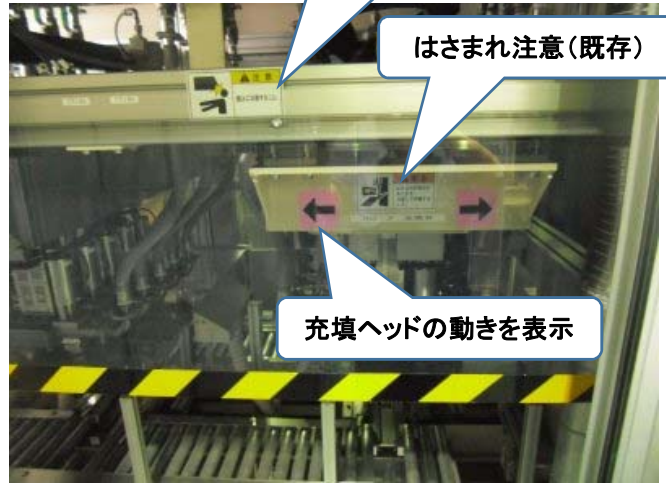


2. 改善対策

(1) アクリル板の設置



(2) 注意事項の追加



頭上に注意すること。(新規)

はさまれ注意(既存)

充填ヘッドの動きを表示